



広 い 心

学校便り 5号

令和8年 6月17日

宮古島市立 狩俣小学校

発行者：校長 喜屋武真史

修学旅行に行ってきました



6月10日～6月12日の日程で、5,6年生は修学旅行に行きました。主な目的地は『糸満市平和祈念公園(平和の礎・平和祈念堂)』『沖縄市の沖縄こどもの国(動物園など)』『海洋博記念公園(オキちゃんイルカショー、美ら海水族館)』『南風原町のサザンヒル(アイススケート)』『首里城』『那覇市国際通り』です。

修学旅行は、単に旅行を楽しむだけではなく、小学校の学びの集大成として、これまで身に付けてきた力を発揮する場でもあります。子供たちは、「マナー良くあいさつをしたり」「しっかりと説明を聞いたり」「仲間と協力して活動したり」と、しっかりした態度で平和学習などに取り組むことができました。また、今回の修学旅行で嬉しかったのは、「子供たちの仲の良さ」です。もともと関係性の良い5,6年生の6人ですが、旅行期間中にますます絆が深まっていく様子が見て取れるようでした。担任の満広先生曰く、「6人で一つの部屋に泊まってもいいですか」と言ってくるほど6人が一つの輪となり「和」が高まっていたそうです。

今回の修学旅行で「学んだこと」や「深めた絆」、「高めた和の雰囲気」を今後の学校生活や人生に生かしてほしいと願います。



海神祭に向け大漁旗を掲揚しました



狩俣小学校では、各学年の子供たちが総合的な学習の時間や生活科の時間に「地域行事の海神祭(ハーリー)」について学び、「地域の一員として、自分たちにもできることを」と考えながら色々なことに取り組んでいます。去った6月15日には、5,6年生児童が狩俣自治会の役員さん方と、毎年恒例となった「大漁旗の掲揚」を行いました(集落入り口の掲揚台)。

授業の中で5,6年生がそれぞれの個性を生かしたイラストを大漁旗にデザインし、かっこよく仕上がっています。6年生の仲嶺真菜さんは、「五穀豊穡と大漁の願いを込めたり、宮古の海がもっときれいになるようにと願いを込めたりしながら大漁旗をつくりました」と話しています。

「地域が子供たちのより良い成長」を願い、「子供たちが地域の発展や自然環境保全」を願う、互いの愛情あふれる狩俣の地域です。

